

ふゆをたのしもう

ここが
ポイント

米ぞり作りにも、一人一人の思いを生かす！

休み時間に、教師が作った米ぞりを持ってグラウンドの山へ行き、滑って遊んでみます。すると、子どもは、「私にも滑らせて！」「ぼくも作りたい！」と興味・関心を高めて、米ぞり作りに取り組んでいきます。

米ぞりを完成させて、遊んでいるうちに、「つなげてみたい。」「二人乗りにしたい。」「もっと大きくしたい。」「もっと速いそりにしたい。」といった思いが生まれます。その思いから、「そりを改良したい！」「もう一回、別のそりを作りたい！」といった次の活動を引き出していきます。

また、乗り方（座り方、仰向け、うつ伏せ）や、作る時の道具の使い方（テープの貼り方や貼る向き、袋の中に入れるもの）なども考えさせていきます。

ビニールをつなげて、みんなで乗れるそりを作りたいな。



寝そべって乗れるように長くしたよ！スケルトンスタイル！



友達と2人で並んで乗れるように、横に広げて大きくしたよ！



気づき！

日を変えて何度か滑っているうちに、子どもは「今日はよく滑る！」「あれ？今日はあまり滑らないな。」と気付いていきます。そこで、どうして違いが出るのかを考えさせてみます。すると「ざらざらの雪の時は滑らない。」「ツルツルだといいんだよ。」と雪質の違いに気付いていきます。さらに、その日の天気や気温にも目を向けさせていくと、暖かさや寒さ、日なたと日かげの違いが、雪質の違いと関係し、そりの滑り具合にも影響することに気づきを広げていきます。